



周南病院だより

2017-4月

住所：山口県周南市御幸通2-8 TEL:0834-21-0357

もの忘れが酷くなったと感じる人、いませんか？

認知症とは・・・

脳卒中や事故、アルツハイマー病などで、脳の神経細胞が壊れたためにおこる症状や状態をさします。認知症が進行すると、だんだんと理解力や判断力が低下して社会生活や日常生活に支障が出てきます。

65才以上の認知症の有病率は、15%で約462万人の患者さんがいます。

また、認知症予備軍の高齢者も約400万人いるといわれています。

認知症の可能性をチェックしてみましょう

<p>① もの忘れがひどくなった</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる <input type="checkbox"/> 同じことを何度も言う、問う、する <input type="checkbox"/> しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている <input type="checkbox"/> 話の途中で言いたいことを忘れることがある <input type="checkbox"/> 話していて、適切な単語が出てこない 	<p>② 判断力・理解力が衰えてきた</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 料理・片付け・計算ミスなどが多くなった <input type="checkbox"/> 新しいことが覚えられない <input type="checkbox"/> 話のつじつまがあわない <input type="checkbox"/> テレビ番組の内容が理解できなくなった
<p>③ 場所・時間がわからなくなった</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 約束の日時や場所を間違えるようになった <input type="checkbox"/> 慣れた道でも迷うことがある 	<p>④ 人柄が変わった</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 些細なことで怒りっぽくなった <input type="checkbox"/> 周りへの気遣いがなくなり頑固になった <input type="checkbox"/> 自分の失敗を人のせいにする <input type="checkbox"/> 「この頃、様子がおかしい」と周りから言われた
<p>⑤ 不安が強くなった</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ひとりになると、こわがったり寂しがったりする <input type="checkbox"/> 外出時、持ち物を何度も確かめる <input type="checkbox"/> 「頭が変になった」と本人が訴える 	<p>⑥ 意欲がなくなってきた</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった <input type="checkbox"/> 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった <input type="checkbox"/> ふさぎ込んで何かするのを億劫がり、嫌がる

現在の日常生活と1年前の状態を比べてみましょう。

※ご本人だけでなく、ご家族の方もご本人の症状の確認のためにご活用ください。

～認知症は、早期の診断・治療が大切です～

適切な治療で治るもの(甲状腺機能低下症や正常圧水頭症など)もあります。

また、お薬によって進行を抑えられるものもあります。

早期の診断治療により理解力や判断力を維持し社会生活や日常生活が円滑に営めます。

まずは、周南病院外来にご相談ください。(予約制)